


◆具体的な取組み	概要	指標	出発点 ↓ 現状値 ↓ 目標値(H31)	取組み内容				
				H28	H29	H30	H31	H32以降
<p>【農03】 ◆次世代型ハウス等の整備支援 (H30拡充)</p>	<p>次世代型こうち新施設園芸システムを推進するため、環境制御装置を標準装備した次世代型ハウス等の園芸用ハウスの整備を促進する</p>	<p>次世代型ハウス(軒高2.5m、耐風速35m以上)の整備棟数</p>	<p>-(H27.3) ↓ 39棟(H29.3) ↓ 400棟 (H28~H31累計)</p>	<p>次世代型ハウス等の整備</p> <p>生産者:環境制御装置を装備した次世代型ハウス等の園芸用ハウスの導入 農業団体:環境制御装置を装備した次世代型ハウス等の園芸用ハウスの整備促進 県農業振興センター、県産地・流通支援課:環境制御装置を装備した次世代型ハウス等の園芸用ハウスの整備啓発 企業による農業参入促進</p> <p>次世代型こうち新施設園芸システム推進協議会による整備促進</p> <p>次世代型こうち新施設園芸システム推進協議会(県関係機関、次世代型ハウス生産者、JA営農指導員、JA全農こうち等):新規掘り起こしに向けた次世代型ハウスの現地検討会や情報交換、フェア等での啓発活動の実施</p>				
<p>【農】 ◆Next次世代こうち新施設園芸システムへの進化(H30新規)</p>	<p>①環境測定データ、出荷データ等のビッグデータを活用した情報システムを開発する</p> <p>②IoT技術を活用した生産工程・労働時間・匠の技の見える化、生産・集出荷・流通販売の工程の効率化による作業効率の改善を進める</p>	<p>①環境測定データ処理等情報システム</p> <p>②主要品目の各工程のデータ化</p>	<p>①システム開発:0 (H30.3) ↓ 試作システム:2 (H32.3)</p> <p>②0品目(H30.3) ↓ 5品目(H32.3)</p>	<p>環境測定データ処理等情報システムの開発</p> <p>作物生育データの環境制御技術への応用、環境測定データの一元化システムの開発、出荷予測のシステムの開発</p> <p>IoT技術を活用した作業効率の改善による生産性の向上</p> <p>主要品目の生産工程の把握と省力化・効率化の検討、匠の技の解析・見える化の検討、集出荷場での各工程の把握と省力化・効率化の検討</p>				

◆具体的な取組み	概要	指標	出発点 ↓ 現状値 ↓ 目標値(H31)	取組み内容				
				H28	H29	H30	H31	H32以降
<p>【農13】 ◆県産米のブランド化の推進(H30 拡充)</p>	<p>①米産地のブランド化を推進するために、栽培技術の確立や販売促進に取り組む組織を支援する</p> <p>②県産米のブランド力を強化するために、高温耐性県奨励品種の生産拡大を支援する</p>	<p>①米のブランド力強化に取り組む組織</p> <p>②高温耐性県奨励品種の作付面積</p>	<p>①4組織(H27) ↓ 7組織(H29) ↓ 8組織</p> <p>②361ha(H26) ↓ 423ha(H28) ↓ 1,000ha</p>	<p>既存ブランド米産地の品質向上・販路拡大</p> <p>新規ブランド米産地の掘り起こし・技術確</p> <p>新規ブランド米産地の品質向上・販路拡大</p> <p>生産者：良食味生産に向けた栽培技術の改善、食味コンテストへの出品による知名度アップ、販売促進活動などによる米のPR 農業団体：県産早期米の県外販売促進活動の実施、ブランド化に向けた栽培技術の改善、販売促進活動への支援 県環境農業推進課・農業振興センター：ブランド化に向けた栽培技術の改善・販売促進活動への支援、食味ランキングでの県産米の評価アップ</p> <p>高温耐性品種「にこまる」の高品質安定生産</p> <p>高温耐性新品種の開発・栽培技術の確立</p> <p>新品種の普及定着</p> <p>生産者：「にこまる」など県奨励品種の作付拡大、肥培管理技術の改善等による高品質安定生産、販売促進活動による米のPR 農業団体：「にこまる」など県奨励品種の栽培技術の改善への支援、販売促進・消費拡大の取組支援 県農業技術センター：県オリジナル高温耐性品種の育成と導入に向けた現地適応性の検討、栽培技術の確立 県環境農業推進課・農業振興センター：県オリジナル高温耐性品種「高育76号」の現地実証、県奨励品種への採用、栽培技術の普及</p>				

◆具体的な取組み	概要	指標	出発点 ↓ 現状値 ↓ 目標値(H31)	取組み内容				
				H28	H29	H30	H31	H32以降
<p>【農】</p> <p>◆次世代こうち新畜産システムの実証と確立(H30新規)</p>	<p>①環境対応型施設導入を推進するため、臭気対策を中心とした環境負荷軽減のための新技術の情報収集、および有効性を検証・導入の推進</p> <p>②IoTを活用した家畜管理による生産性向上を推進するため、肉用牛繁殖経営における活用方法の検討と実証試験の実施</p>	モデル農家戸数	<p>①0(H29) ↓ 0(H29) ↓ 1戸(H31)</p> <p>②0(H29) ↓ 0(H29) ↓ 7戸(H31)</p>	<p>環境新技術の情報収集、先進地事例調査</p> <p>県畜産振興課、畜産試験場：先進事例、技術情報の収集 養豚農家、JA四万十、家畜保健衛生所：先進地視察、各農家に対応した経済性の検証</p> <p>環境新技術の有効性検証 → モデル農家での検証</p> <p>県畜産振興課：環境新技術の導入に伴う対策を検討 モデル農家での新技術の検証(データ収集)</p> <p>IoTシステムの活用による生産効率の改善</p> <p>県畜産振興課、畜産試験場、家畜保健衛生所：導入可能なIoTシステムの検討、コスト試算等 畜産試験場：IoTシステム実証試験</p> <p>現地実証による有効性の確認</p> <p>モデル農家でのIoTシステムの検証(データ収集)</p>				

◆具体的な取組み	概要	指標	出発点 ↓ 現状値 ↓ 目標値(H31)	取組み内容				
				H28	H29	H30	H31	H32以降
【農27】 ◆中山間農業複合経営拠点の県内への拡大(H30拡充)	中山間地域の農業の競争力を高め支えるため、「複合経営拠点推進フォーラム」の開催や複合経営拠点支援事業による体制整備支援を行い、「中山間農業複合経営拠点」の取組みを県内各地域へ拡大する	中山間農業複合経営拠点構想作成地区数	4地区(H27) ↓ 32地区(H29) ↓ 32地区	<div style="background-color: black; color: white; padding: 2px; text-align: center;"> 中山間農業複合経営拠点の経営拡大・発展(既存実施地区) </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>拠点：拠点事業戦略の実践 市町村・関係機関：拠点事業戦略の実践支援 県農業振興センター・地域本部：拠点事業戦略の実践支援 県地域農業推進課：拠点事業戦略の実践支援 複合経営拠点支援事業による複合経営拠点の体制整備支援 アグリ事業戦略サポートセンター(H30～)：拠点事業戦略の策定サポート、PDCAサイクルのフォロー</p> </div> <div style="background-color: black; color: white; padding: 2px; text-align: center; margin-top: 5px;"> 中山間農業複合経営拠点の体制整備(新規実施地区) </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>拠点：拠点事業戦略の策定と実践 市町村・関係機関：協議会及び運営委員会の設立、拠点事業戦略の策定と実践支援 拠点となる法人の設立 県農業振興センター・地域本部：拠点事業戦略の策定と実践支援、法人設立支援 県地域農業推進課：拠点事業戦略の策定と実践支援、法人設立支援 複合経営拠点支援事業による複合経営拠点の体制整備支援 アグリ事業戦略サポートセンター(H30～)：拠点事業戦略の策定サポート</p> </div> <div style="background-color: black; color: white; padding: 2px; text-align: center; margin-top: 5px;"> 中山間農業複合経営拠点の新規掘り起こし </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>拠点：構想案作成と組織内取組合意 市町村・関係機関：複合経営拠点推進セミナーへの参加(H28)、複合経営拠点推進フォーラムへの参加(H29～) 複合経営拠点構想の作成 県農業振興センター・地域本部：複合経営拠点推進セミナーの実施支援(H28)、複合経営拠点推進フォーラムの実施支援(H29～) 複合経営拠点構想の作成支援 県地域農業推進課：市町村・関係機関との協議による新規予定地区の掘り起こし</p> </div>				

◆具体的な取組み	概要	指標	出発点 ↓ 現状値 ↓ 目標値(H31)	取組み内容				
				H28	H29	H30	H31	H32以降
【農34】 ◆<青果物>(中規模)卸売市場と連携した業務需要の開拓(H30拡充)	外食・中食等の業務需要を拡大させるため、卸売会社と連携した取組みを強化する	業務需要開拓に係る卸売会社への委託件数	3件(H26) ↓ 8件(H29) ↓ 32件 (H28~H31の累計)	卸売会社と連携した業務需要の開拓 				
				新需要開拓マーケティング協議会、農業団体:卸売市場等関係者と連携・協力した本県園芸品の情報発信やセミナーの実施、営業販売活動の展開、実需者ニーズに基づく商品開発、ニーズに基づく新たな産地づくり等 県(産地・流通支援課、農業振興センター):上記の活動を支援 農業団体、県(農業振興センター、産地・流通支援課):販路拡大PT等の活動を通じた産地や卸売会社への提示(マッチング)				

◆具体的な取組み	概要	指標	出発点 ↓ 現状値 ↓ 目標値(H31)	取組み内容				
				H28	H29	H30	H31	H32以降
<p>【農39】 ◆U・ターン就農者の確保に向けた産地提案型担い手確保対策の強化(H30拡充)</p>	<p>産地が求める新規就農者の確保・育成に向けて、産地提案書を活用した県内外での就農相談活動や研修実施を支援する</p>	<p>産地提案書の作成市町村数</p>	<p>25市町村(H28.3) ↓ 29市町村(H29.3) ↓ 34市町村</p>	<p>産地提案書の策定への支援</p> <p>新規就農者の確保・育成</p> <p>(一社)県農業会議(就農コンシェルジュ):就農相談総合窓口活動の実施と産地提案型担い手確保・育成に取り組む産地等との連携 県農業担い手育成センター:「こうちアグリスクール」の開催や「こうちアグリ体験合宿」の実施 県農業振興部:専門技術員による「こうちアグリスクール」講義と就農相談活動の実施 県農地・担い手対策課:新規就農情報の発信や、産地提案型担い手確保・育成活動への支援 県環境農業推進課:農業系大学・農業高校との連携による将来の就農希望者の掘り起こし 地域担い手育成支援協議会(市町村、JA等):産地提案型による新規就農者確保・育成活動および産地提案書の策定・改定支援</p>				
<p>【農】 ◆畜産の担い手確保に向けた体制の強化(H30新規)</p>	<p>①肉用牛就農希望者の確保・育成に、畜産版「県産地提案書」を策定し、相談窓口から就農までの各ステージでの支援体制を確立する</p> <p>②畜産研修施設の確保のため、畜産試験場に「担い手育成畜舎」を設置し、「畜産版担い手育成センター」としての機能向上を図る</p>	<p>畜産新規就農者数</p>	<p>—(H29) ↓ —(H29) ↓ 3人</p>	<p>畜産版「県産地提案書」策定による担い手確保の支援</p> <p>生産者:研修生の受入(指導農業士など研修受入先の拡充) (一社)高知県畜産会:畜産版県産地提案書の策定、畜産経営技術指導による就農窓口相談、就農、経営支援、産地との連携 市町村:インターンシップの実施、地域での産地提案書策定、農業次世代人材投資推進事業(準備型)等の支援 家畜保健衛生所:空き牛舎、活用可能な畜産施設の情報共有による就農マッチング 県畜産振興課:関係機関と連携した担い手確保・育成活動への支援、畜産担い手担当者会の開催 畜産試験場:担い手育成畜舎施設整備、担い手研修カリキュラムの検討</p>				
<p>【農41】 ◆農業担い手育成センターの充実・強化(H30拡充)</p>	<p>①新規就農者の確保育成のため、研修生受け入れ体制の強化や研修内容の充実、就農に向けたマッチングの支援を強化する</p> <p>②先進的な生産技術の普及を推進するため、実証・展示機能を充実する</p> <p>③U・ターン就農者の増加に向け、PRの強化や目的別研修コース(移住等)の設置、移住促進センター等との連携などに新たに取り組む</p>	<p>農業担い手育成センター入校生的人数</p>	<p>20人(H27) ↓ 33人(H29) ↓ 40人</p>	<p>研修生の確保・育成・就農支援</p> <p>県農業担い手育成センター:研修生受入体制の強化 ・長期宿泊施設の新設充実による受入人数の拡大 ・研修内容の充実:施設の増設による研修対応品目の拡大や環境制御等先進技術習得への対応強化、U・ターン就農者への基礎研修の充実、雇用就農者を対象とした研修等、目的別にコースを設置 ・産地との連携強化:市町村、JAとの連携強化による産地提案型の研修生受け入れの増加 農家研修や就農先、営農品目の選定のためのマッチング支援 ・PRの強化:移住相談から就農(移住)までをパッケージにしたPRの展開、SNS等による積極的な情報発信</p> <p>生産技術の実証・展示と技術の普及</p> <p>県農業担い手育成センター:先進技術の実証</p>				

分野

農業分野

戦略の柱
取組方針

4 生産を支える担い手の確保・育成

2 家族経営体の強化及び法人経営体の育成

◆具体的な取組み	概要	指標	出発点 ↓ 現状値 ↓ 目標値(H31)	取組み内容				
				H28	H29	H30	H31	H32以降
<p>【農45】 ◆経営体を支える労働力の確保と省力化の推進(H30拡充)</p>	<p>①産地の労働力確保のために、労働力確保の仕組み作りへの支援や省力化技術に取り組むとともに、地域間での労働力の調整や県内外での新たな援農者掘り起こしに取り組む</p> <p>②ショウガ、シントウ、ニラなどの出荷調整にかかる労力を削減するため、機械類の開発と普及、システム作り、現場実証への支援を行う</p>	<p>①労働力確保の具体的な取組み実施地区</p> <p>②省力化技術の現場実証への支援</p>	<p>①-(H27) ↓ 3地区(H29) ↓ 9地区</p> <p>②-(H27) ↓ 実証機開発中(H29) ↓ 機械完成(H31)</p>	<p>地域PTでの労働力確保の仕組みづくり → 地域ごとの労働力確保対策の実施</p> <p>県域での労働力確保の仕組みづくりと支援</p> <p>JA、県農業振興センター、市町村:労働力不足の実態把握、効果的な労働力確保対策の整理と仕組みづくり 県農環境農業推進課、JA中央会、県農業会議:JA、市町村などへの助言・支援、地域間での労働力調整に対する支援、県内外での新たな援農者の掘り起こし</p> <p>省力化機の開発(ショウガ収穫・調製などの実証機) → 実証機の改良</p> <p>生産者、農業団体、県産地・流通支援課、県環境農業推進課、県農業技術センター、県農業振興センター:省力化機械類の開発、実証、普及への取組み、労力軽減システムづくり</p>				

◆具体的な取組み	概要	指標	出発点 ↓ 現状値 ↓ 目標値(H31)	取組み内容				
				H28	H29	H30	H31	H32以降
<p>【農47】 ◆園芸団地の整備促進(H30拡充)</p>	<p>①農業クラスターの形成と園芸団地の基盤整備を促進するため、市町村が作成、改定する農業クラスタープランに対して支援するとともに、市町村や民間企業による次世代園芸団地基盤整備基本計画の作成を支援する</p> <p>②園芸団地の整備に必要な優良農地を確保するために、農地の基盤整備の費用に対する農家(貸し手)負担を軽減する</p> <p>③まとまった園芸団地用地を確保するため、1ha以上の用地を長期に賃借してくれる地権者に対して、農地集積協力を交付する(検討中)</p>	<p>園芸団地候補地</p>	<p>-(H27) ↓ -(H28) ↓ 3カ所(10ha)</p>	<p>次世代施設園芸団地(四万十町)の営農支援及び園芸団地の普及推進</p> <p>・次世代施設園芸団地推進協議会(事務局:県産地・流通支援課)による園芸団地の普及推進</p> <p>・県高南農業改良普及所・県農業担い手育成センター・県専門技術員・県農業技術センター・県環境制御普及推進担当等:次世代施設園芸団地(四万十町)の営農支援</p> <p>農業クラスタープランの策定・改定、次世代園芸団地基盤整備基本計画の作成</p> <p>県農業振興センター、県産地・流通支援課:農業クラスター計画策定事業による支援、意識啓発、取組周知 市町村・民間企業:候補地選定、地元住民の意向確認、適地調査(地盤調査、現況測量)、先進地調査、次世代園芸団地基盤整備基本計画作成、農業クラスタープラン策定、見直し</p> <p>園芸団地整備の円滑化</p> <p>県産地・流通支援課:園芸団地整備円滑化事業による農地の基盤整備の費用に対する農家(貸し手)負担を軽減</p> <p>次世代園芸用地確保の推進</p> <p>県農地・担い手対策課、県産地・流通支援課:園芸団地整備円滑化事業による農地の基盤整備の費用に対する農家(貸し手)負担を軽減 農業クラスター計画策定事業において地権者に農地集積協力を交付し、まとまった用地を確保</p>				

◆具体的な取組み	概要	指標	出発点 ↓ 現状値 ↓ 目標値(H31)	取組み内容				
				H28	H29	H30	H31	H32以降
【農49】 ◆食品加工、物流、直販所等関連産業との連携の推進(H30拡充)	生産基盤の強化を図る中で、さらなる付加価値と雇用の創出を実現するために、市町村が中心となった農業クラスタープロジェクトチームで、農業クラスタープランを策定、改定する取組みを推進するとともに、関連施設の整備やを支援し、農業クラスターの形成を図る	クラスタープラン作成数	-(H27) ↓ 7プラン(H28) ↓ 13プラン	各市町村の農業クラスタープラン策定の推進 県産地・流通支援課：農業クラスター計画策定事業で、農業クラスタープラン策定までの取組みを支援 農業クラスタープロジェクトチーム：市町村、県農業振興センター、関係機関等で構成し、農業クラスタープランを検討 市町村：農業クラスタープランの策定、見直し 農業クラスター関連施設の整備 県産地・流通支援課：次世代型ハウス・農業クラスター促進事業で、関連施設の整備や露地園芸作物の生産拡大に必要な設備等の導入にかかる費用を支援				
(再掲)【農46】◆担い手への農地集積の加速化 (再掲)【農47】◆園芸団地の整備促進(H30拡充)	①担い手への農地集積を図るため、農地の有効活用などについての地域合意の形成と、農地の利用調整・集約への支援を行う ②農業クラスターの形成と園芸団地の基盤整備を促進するため、市町村が作成、改定する農業クラスタープランに対して支援するとともに、市町村や民間企業による次世代園芸団地基盤整備基本計画の作成を支援する ③園芸団地の整備に必要な優良農地を確保するために、農地の基盤整備の費用に対する農家(貸し手)負担を軽減する ④まとまった園芸団地用地を確保するため、1ha以上の用地を長期に賃借してくれる地権者に対して、農地集積協力金を交付する(検討中)	園芸団地候補地	-(H27) ↓ 0カ所(H28) ↓ 3カ所(10ha)	地域での合意形成の推進 市町村：農地の有効利用に向けた意識付け、人・農地プランの作成・更新 農業委員会：農地の有効利用に向けた意識付け (一社)県農業会議：農業委員会への指導・助言 県農地・担い手対策課：市町村、農業委員会、(一社)県農業会議への指導・助言 担い手への農地集積の推進 市町村、農業委員会：農地の利用調整と集積の促進 農地中間管理機構：農地の出し手の掘り起こし、受け手の募集、マッチング (一社)県農業会議：農業委員会への指導・助言 県農地・担い手対策課：市町村、農業委員会、(一社)県農業会議、農地中間管理機構への指導・助言 次世代園芸用地の基本計画作成、農業クラスタープランの策定・改定 県農業振興センター、県産地・流通支援課：農業クラスター計画策定事業による支援、意識啓発、取組周知 市町村及び民間企業：候補地選定、地元住民の意向確認、適地調査(地盤調査、現況測量)、先進地調査 基本計画作成、農業クラスタープラン策定、見直し 次世代園芸用地確保の推進 県農地・担い手対策課、県産地・流通支援課：園芸団地基盤整備円滑化事業による農地の基盤整備の費用に対する農家(貸し手)負担を軽減 農業クラスター計画策定事業において地権者に農地集積協力金を交付し、まとまった用地を確保				